

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	ハッピーテラス山田東教室(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ~ 令和7年 4月 23日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ~ 令和7年 4月 12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 12日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月、個別支援計画にある支援目標の進捗状況をまとめた「短信」を各児童ごとに作成し、保護者様および児童に関連する相談支援事業所に送付し、各児童の発達状況を詳細に共有している。	「短信」の精度を上げるために、日々作成する支援記録を詳細にし、スタッフ間で各児童に関する申し送りを頻回に行っている。	保護者様・相談支援事業所からのフィードバックや要望をいただき、さらにニーズに合った短信を作成していく。
2	活動プログラムが固定しないように工夫している。	日々のトレーニングごとに、参加児童に合わせて、SST年間カリキュラムに沿ったオリジナルの教材作成を行っているほか、児童の興味に沿ったイベントを毎月数回開催し、様々な体験の機会を提供している。児童ひとりひとりの発達段階を考慮して、集団療育に楽しく参加できるように、書字や発言のサポートを意識的に行っている。	FC本部からの最新情報や、スタッフ独自の調査を元に、常に新しく児童の発達に役立つプログラムの作成・イベントの開催を行う。
3	保護者様等からの子育ての悩みに関する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	送迎時や電話、LINEにて、いつでも必要時に相談に応じている。6か月に1回のモニタリング時に、状況に応じたご家庭での支援方法を保護者様にお伝えしている。	継続し、より良い支援ができるように取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの交流イベント等を実施しておらず、保護者交流の機会が提供できていない。	保護者間でもご要望がなかったため開催していなかった。	改善の一策として、保護者向けの講演会を開催することとなった。参加者へのアンケートを実施し、さらに要望に合ったイベント等を企画していきたい。
2	地域の方との交流を実施しておらず、児童に地域の方との交流を提供できていない。	コロナ以降、交流イベントを控えていた。	改善の一策として、地域の和菓子店の工場見学体験をさせていただくこととなった。これを機会に積極的に地域での社会体験を行っていきたい。
3			